

新規受託項目

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別なご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。
謹白



項目名

● IgG インデックス

(依頼コード No.13803)

受託開始日 2023年9月1日(金) ご依頼分より

IgGインデックス検査は中枢神経系内での免疫グロブリンIgG産生の程度を推測する指標です。脳脊髄液中のIgGは血清からの移行、または中枢神経系内での産生があります。アルブミンが中枢神経系では産生されないことを利用して、脳脊髄液中と血清中のIgGの比を、アルブミンに対する比率として算出した値がIgGインデックスです。本検査は、主に多発性硬化症の診断補助として用いられています。

【IgGインデックスの計算式】

$$\text{IgGインデックス} = \frac{\text{髄液IgG濃度} \times \text{血清アルブミン濃度}}{\text{髄液アルブミン濃度} \times \text{血清IgG濃度}}$$

(各IgG、アルブミンの単位：mg/dL)

裏面に続きます

株式会社 **ビー・エム・エル**

本社：〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-21-3
総合研究所：〒350-1101 埼玉県川越市の場1361-1
☎ 03(6629)7386 FAX 049(232)3132

検査項目検索用
アプリ B-Book



Google play



Available on the
App Store



電子カルテはビー・エム・エル



受託要領

検査項目名 及び 依頼(報告) コードNo.	13803 (親) IgG インデックス
	(子) 23156 IgGインデックス
	(子) 23157 ALB-S
	(子) 23158 ALB-L
	(子) 23159 IgG-S ※S:血清 (子) 23160 IgG-L ※L:髄液
統一コード	5A120-0000-098-061
検体必要量	血清 0.6mL 及び 髄液 0.6mL
容器	血清: B-1 → S-1 髄液: S-S
検体の保存方法	冷蔵
所要日数	2~4
検査方法	免疫比濁法 及び 比色法
基準値	IgGインデックス: 0.73以下 各ALB、各IgG : なし
単位	IgGインデックス: なし 各ALB、各IgG : mg/dL
報告範囲	IgGインデックス: 0.10未満~最終値 ALB-S : 100未満~最終値 ALB-L : 0.2未満~最終値 IgG-S : 6未満~最終値 IgG-L : 0.2未満~最終値
報告桁数	IgGインデックス: 小数第2位 ALB-S : 整数 ALB-L : 小数第1位 IgG-S : 整数 IgG-L : 数第1位
検査実施料/判断料	402点/34点(尿・糞便等検査) 本検査は、多発性硬化症の診断の目的で行った場合に算定する。
備考	血清と髄液はペアでご提出ください。 血清、髄液を同時に採取できない場合は、24時間以内に採取して 両材料を併せてご提出ください。 IgGインデックス、血清アルブミン、髄液アルブミン、血清IgG、髄液 IgGをご報告いたします。

【参考文献】

中島一郎, 他: 脳と神経56, 475-482, 2004.

金井正光: 臨床検査法提要 (第34版), 219-220, 2015.